

『トトロの生まれたところ』

宮崎駿／監修 スタジオジブリ／編 岩波書店

どこかにある懐かしい景色を
私にとって昭和は見たことのない時代ですが、様々な作品を通してその空気感に触れることができます。
「となりのトトロ」もその一つで、幼い頃から何度も繰り返し見ました。中でも、物語冒頭の引越し場面が一番好きです。隣人との最初の交流や、新しい家や生活への期待と不安が描かれている場面で、木のトンネルを抜けた時のわくわく感が本書のスケッチにも見て取れます。
のどかで懐かしい風景を柔らかなスケッチで楽しめる一冊です。
令和7年度 司書のイチオシ「昭和100年の本」

司書のおすすめ本 2026年3月



請求記号

778

資料コード

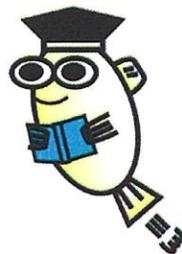
755860810

『美しい日本のくせ字』

井原 奈津子／著 パイインターナショナル

字には人それぞれの「くせ」が表れます。この司書のおすすめ本コーナーに並ぶPOPたちも、いくつかは書き手が同じものを見つけられるのではないのでしょうか。
かくいう私もくせ字であり、キレイな字を書くのは苦手です。
本書では、そんな手書きの「くせ字」に魅せられた著者の集めたくせ字たちが、「くせ」のある解説と共に多数掲載されています。有名人の字や書き手不明の字、読者のも難しい字もあり、まるで暗号解読をしている気分です。
そして何より、著者のくせ字に対する情熱に圧倒されます。
あなたも、不思議で魅力的なくせ字の世界に溺れてみませんか？

司書のおすすめ本 2026年3月



請求記号

141

資料コード

755841875